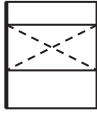
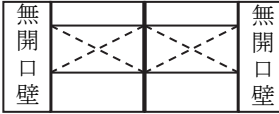
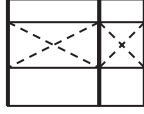


評価シート

耐震	部位	壁	分類	開口型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-284	
評価技術名称					連絡先	http://www.			
構造用合板補強工法					〒				
大壁「1間 腰窓」裏棧あり					電話	Fax			
概要	技術概要 開口を有しながら、真壁で1間の腰窓上下の垂壁と腰壁を構造用合板で補強する工法。								
	技術の特徴						コスト		
	<ul style="list-style-type: none"> 開口部を有していても、腰壁、垂壁を補強する事により耐震補強が可能。 1間の開口部がある場合に有効。 一般流通品なので取り扱いが容易。 						サンプル構面	—	
設計見積り例					—				
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関				
機関名					名古屋工業大学				
評価番号					その他				
評価取得日									
仕様	適用範囲				写真・図				
	構法	木造在来軸組工法							
	規模	3階建て以下							
	基礎、地盤	特になし							
	適用部位	内外壁							
	その他	特になし							
	主要構成部材の仕様								
	構造用合板 厚12以上 横使い 裏棧あり								
	まぐさ、窓台を上下受材と兼用する事も可能								
	間柱、上下受材あり								
耐震性能									
評価仕様: 大壁直貼仕様									
		壁基準耐力	壁基準剛性						
1間独立		1.56kN/m	219kN/rad/m						
1間独立: A-111からの低減係数 $\alpha = 0.3$									
次ページを参照のこと									
設計方法									
①柱接合部による低減									
取付部分が健全であること									
②劣化による低減									
取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
その他									
				<p>大壁 裏棧あり</p> <p>構造用合板 厚12mm以上</p> <p>釘 N50、CN50 @100mm以下</p> <p>四周、間柱打ち</p> <p>上下受材 90×45mm以上</p> <p>釘 柱、間柱に対して 2-N75 斜め打ち</p> <p>間柱三ツ割材以上</p> <p>間柱に対し、上下受材勝ち</p>					

別紙:壁基準耐力・壁基準剛性 一覧

耐震	部位	壁	分類	開口型、	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-284
評価技術名称 構造用合板補強工法 大壁「1間 腰窓」裏棧あり					連絡先 〒 電話			
壁基準耐力・壁基準剛性 一覧					Fax			
仕 様	独立または隣に無開口壁がある場合は、 $\alpha = 0.3$ とする。							
	基本仕様				1間腰窓連続+両側に無開口壁			
	1間独立  0.3				1間連続両側  0.3 0.3			
	1間と半間が連続する場合は1間を $\alpha = 0.3$ 、半間を $\alpha = 0.2$ とする。							
1間と半間が連続								
1間半間連続  0.3 0.2								
※耐力壁の間に記載している数値は、耐力壁の配置によって設定した低減係数 α								